

事務事業名 五郎山古墳保存整備事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1722

施策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	--
基本事業：	02	文化財の整備と活用	担当部	教育部
基本事業の成果指標	市民等が触れることができるよう整備活用されている史跡等の数		担当課	文化財課
			担当係	博物館・史跡整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成28年度 ~ 令和01年度		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
国指定史跡五郎山古墳 五郎山古墳館（ガイダンス施設）			平成28年度 現況調査と学識者による指導のもと基本計画を策定します。 平成29年度 五郎山古墳整備工事を実施します。 平成30年度 五郎山古墳整備工事を実施します。 令和元年度 五郎山古墳館改修工事を実施します。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
平成12年度の整備後に生じた施設及び設備等の不具合を解消し、古墳の装飾壁画の劣化等を防ぎ、市民への公開活用の効果を高めます。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標	
五郎山古墳館来館者数		人	5,399	4,831		5,000			6,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	24,989	12,947	0				
		国	千円	11,912	6,243	0				
		県	千円	750	525	0				
		地方債	千円		0	0				
		その他	千円		0	0				
一般	千円	12,327	6,179	0						
正職員人工数		人工								
正職員人件費		千円								
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	24,989	12,947	0					
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		平成28年度は福岡県と協議を行い、学識者による指導のもと改修整備工事の基本計画を策定しました。また、古墳の保存環境の基礎データとするため墳丘測量調査を実施しました。 平成28年度から4ヶ年の整備事業として実施しています。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
備考・特記事項 or 進行管理欄										
平成12年度の整備完了から16年を経過し、施設及び設備に老朽化・劣化に伴う不具合が生じてきています。古墳の装飾壁画に悪影響が及ぶ可能性が高まっており、来訪者の事故防止、環境改善のためにも早急な改修整備が求められています。										